

シンフォニー

第 **39** 号
2018年 5月 May

発行/医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 編集/広報委員会

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522 TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112 http://www.shmc.jp

特集

Feature Articles

積極的に 血管内治療の 体制を強化

平成29年9月より
副院長を拝命致しました。主に臨床研修センター長として初期研修医を担当しております。当院は初



副院長 長田 秀夫

期研修医のマッチングに参加して以降、お陰様でこの4年間
はフルマッチングを実現し、平成30年度も募集の3倍近い応募
を頂きフルマッチを果たすことができました。これも常
勤、非常勤問わず諸先生方、及び職員一同の日頃の努力のみ
ならず、ご紹介下さる近隣各医療機関の先生方、及び救急隊の
みなさまのご尽力の賜と考えております。ありがとうございます
ます。当院で学ぶ初期研修医は、医師としての基本的知識や
技能は勿論のこと、例えば挨拶、時間や約束の厳守など一般
社会人としても恥ずかしくない常識も身に着けられるよう
に教育して参りたい、と考えております。

また、これまで通り脳神経外科の臨床にも携わっております。
平成27年7月に当院の新築移転以降、ご承知の如く、当
院の救急搬送件数は右肩上がりの状態が続いております。
それに伴い脳神経外科の入院数、及び手術件数ともに飛躍
的に伸びている状況です。さらには平成29年12月からは埼

玉県急性期脳梗塞治療
ネットワーク(SSN)が
県主導で全国に先駆けて
開始されました。発症間
もない急性期脳梗塞患者
さまに対して、rt-PA
静注及び血栓回収療法ま
でを視野に入れた治療の
ネットワークであり、当院
でも平成30年2月から国
内でも数少ない血管内治
療の指導医である河野医
師が常勤医師として赴任

され、基幹病院としてこれまで以上に積極的に急性期脳梗
塞治療ができる環境が整いました。今後更に当院での急性
期治療を必要とする患者さまの増加が予想され、なお一層精
進して参りたい、と考えております。

一方で、当科で治療させて頂いた患者さまの治療成績も内
外に発信していく責務があると考えております。昨年
から日本脳神経外科学会、日本脳卒中(の外科)学会、及び埼玉医
学会などを通して、当院でのくも膜下出血における開頭ク
リップング術や、内頸動脈狭窄症に対する内頸動脈血栓内膜
剝離術の良好な治療成績を発表し評価を頂いております。
今後、脳腫瘍、脳出血や脳梗塞などについても順次発信して
いく予定でおります。

「泥臭く、誠実に、ハードワーク」この言葉を胸に、今後も
スタッフ一同、日々努めて参りたいと思っております。



脳神経外科

脳神経外科 医長
河野 健一
脳血管内治療指導医

切らずに治す脳血管内治療

2018年2月に当院に赴任し、脳血管内治療を立ち上げました。脳血管内治療について簡単に説明させていただきます。

1 頭の病気

頭の疾患は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳腫瘍などがあります。手術が必要になることもあり、その場合、開頭手術という、頭を切る必要があります。近年、技術の進歩とともに、脳血管内治療という、カテーテルを用いて血管の中から治すことが出来るようになってきました。

2 脳血管内治療の特徴

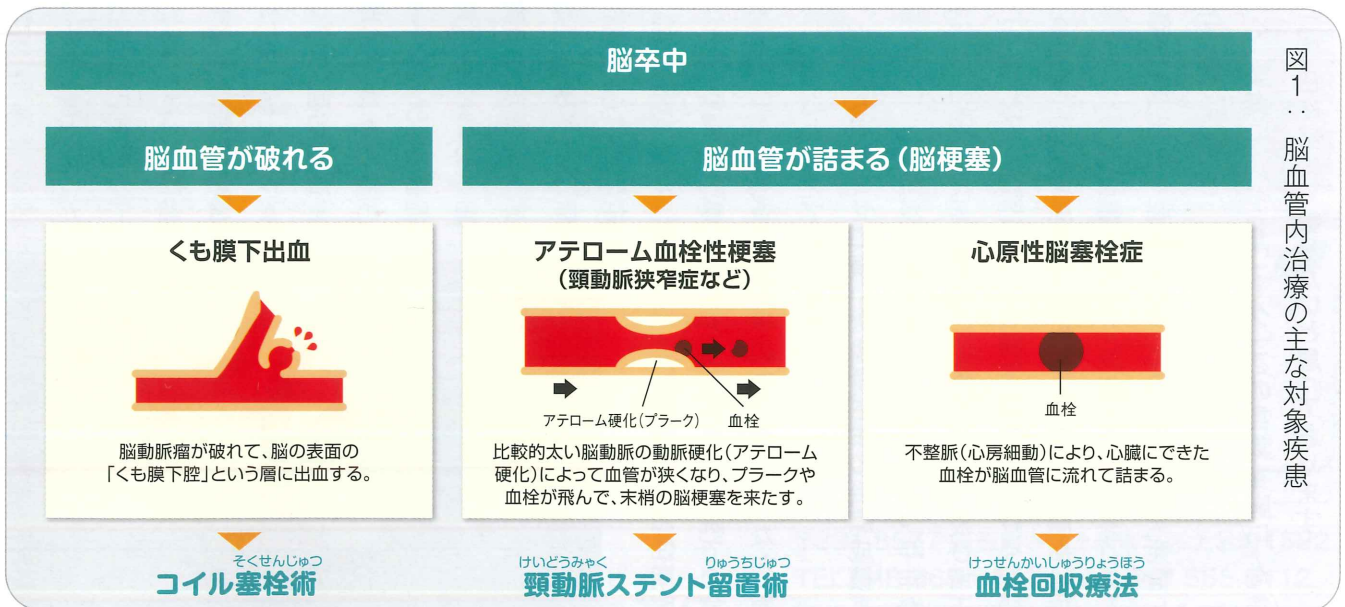
血管内治療の最大の利点は、侵襲性の低さです。鼠径部に3mm程度の傷ですみますので、見た目には、治療したことが分かりません。回復も早く、翌日からほぼ元とおなじように動くことができます。傷の痛みも殆どありません。入院期間も短くなります。

血管内治療の主な対象疾患は、図1の通りです。特に、超急性期脳梗塞において、脳血管内治療による血栓回収術の高い有効性が示されています。埼玉県では、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク(SSN)で、脳血管内治療医師の常勤医がいる施設に、脳梗塞疑いの患者さまを救急搬送することが、この1月から決定しました。それにより、患者さまの予後が良くなるからです。

3 開頭手術と脳血管内治療

患者さまの状態や個々の疾患により、開頭手術と血管内治療のどちらの治療が適しているかは異なりますので、当院では両方の視点から専門的に判断します。もちろん、患者さまの希望があれば、なるべくそれに応じるように致します。

脳血管内治療を含め、脳神経外科一般について、ご質問など御座いましたら、お気軽にご相談下さい。





よりよい病院をめざして

「転倒転落リスク」について

病院に来られる患者さまには、どのような危険があるかご存知ですか。

当院では、患者さまが安全に医療を受けられるように、病院全体で医療安全に関する取り組みを行っております。その対応部署である医療安全管理課には、事故の報告があります。

報告されたデータを見ると、転倒する患者さまの平均年齢は78歳前後であることが分かりました。その原因には、手術後のせん妄（一時的な注意力低下、幻覚、興奮状態など）により、ベッドから転落してしまうケースや脳卒中による麻痺の出現に身体が対応できずに転んでしまうケース、またナースコールが理解できない認知症の患者さまが一人で歩こうとして転倒するケースなど、入院による環境や病状の変化で転んでしまうことが挙げられます。

そのため、当院では転倒転落のリスクを把握し予防対策を取ることを目的として、入院時に患者さま全員に転倒転落リスク評価を行っています。転倒したことがあるか、身体が動く機能がどれ位かまた認知力の低下の状況など10項目で評価をします。その結果、転倒リスクの高い患者さまには、ご家族同意のもと、赤のリストバンドを装着していただき、職員がすぐに介助できる体制をとっております。また、毎月転倒転落防止のための病棟ラウンドを行い、ベッド周りの環境整備の確認や予防対策を立てています。その他、入院早期のリハビリテーション介入により、転倒しても大きな事故に繋がらないように下肢の筋力アップも行っています。

更に昨年より、外来患者さまにも転倒転落リスク評価を行い、転倒予防対策を実施するようになりました。今後も患者さまの安全を守り安心した療養生活が送れるように院内全体で取り組んでまいります。



医療安全管理課
染谷 滋子

平成
30年度
新入職員

今年度は総勢69名の新入職員が入職しました。
集合研修を経て、各部署へ配属されています。
どうぞよろしくお願いいたします。



初期研修医 ……7名
放射線技師 ……1名
事務 ……1名

看護師 ……43名
理学療法士 ……4名

薬剤師 ……3名
作業療法士 ……5名

臨床工学技士 ……4名
言語聴覚士 ……1名

患者教室のご案内 (ミニセミナー)

5月のスケジュール

5月です。積極的に外に出て、健康づくり。
さわやかな光と風を全身で感じ、心と体に喜びを。

17日(木)「光過敏症のくすり」

日差しが強くなってきました。お薬だけでなく、普段の注意事項など気をつけることで、症状改善。

22日(火)「糖尿病教室」～青葉講演会～

恒例となりました「青木医師」を招聘しての講演会です。
今年はどんな話を聞かせて頂けるでしょうか?お楽しみに。

6月のスケジュール

早くも梅雨の季節となりました。この時期のキーワードはいくつかありますが、やはり“食中毒”には細心の注意が必要です。

21日(木)「胃腸炎のくすり」

急に症状がでて辛い胃腸炎。くすりを飲むと同時に脱水に注意しましょう。

26日(火)「糖尿病教室」

～低糖質にまつわるエトセトラ・さくら友の会総会～

28日(木)「見直そう朝ごはんの重要性」

朝ごはん食べていいですか?どんなものを摂っていますか?
体によい朝ごはんを摂りましょう。

数字アラカルト

(平成29年12月～30年3月平均)

入院稼働率 ……96.0%
1日平均入院患者数 ……323.5人
平均在院日数 ……15.9日
1日平均外来患者数 ……623.9人
救急搬送件数 ……588件/月
手術件数 ……259件/月
紹介患者数 ……814件/月

興味のあるセミナーに、
ご自由にご参加ください。

場 所

2F エデュケーションセンター

時 間

13時～

交通案内図



JR
宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン
「土呂駅」東口より 徒歩約11分

東武アーバンパークライン
「大宮公園駅」より 徒歩約9分



自動車
首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分
東北自動車道「岩槻」ICより 約21分



今年は、2年に1度の診療報酬の改定と6年に1度である介護報酬の改定とW改定となっており、医療制度にも様々な変更が出ています。
当院も改定に合わせ、柔軟に対応していきたいと思います。



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522
TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112

彩の国東大宮メディカルセンター

検索